

茨城県北茨城市立中郷第一小学校（学校長 鈴木 安昭）

実施日	平成19年11月20日（火）	時 間	午後 1 時50分～午後 3 時25分
実施場所	教室、第 2 総合室、図書室	対象/人数	6 年生79名
担当教諭	大内 芳枝	ファシリテーター	辻 真利子
講師	セヴェリン グルフィン（スイス・留学生） ルトウジャ キベ（インド・留学生） フー シャオチン（中国・留学生） クリスピン スコット（アメリカ合衆国・留学生）		

活動内容

中国、インド、スイス、アメリカの自然や文化・衣食住・学校生活などについて学ぼう
 民族の歌紹介（中国・インド）
 児童代表のあいさつ・留学生のあいさつ

児童の感想

- ・開会式のとき，4人の留学生が図書室に入ってきたときは，「この人たちと交流するんだ。」と思って楽しみにになりました。
- ・最初に，インドのルトウジャさんのお話を聞きました。インドの言葉であいさつや自己紹介をしたり，学校のことを聞いたりとても勉強になりました。また，カレーの話聞いていたときに，「カレーが30分ぐらいでできる。」とっていて，思ったより早くてびっくりしました。
- ・スイスのセヴェリンさんには，写真を見せてもらいました。お祭りや山の写真もあって，「きれいだな」と思いました。マッターホルンに登ったことがあって，とてもきれいだと言っていたので，機会があったらいつかみたいと思いました。

先生の感想

・総合的な学習の時間の中で，日本を飛び出し「外国に目をむけてみよう。」というテーマのもとに学習を進めてきました。それぞれが興味のある国について本やインターネットを利用して調べたり掲示資料にまとめて展示発表会をしたりして学習を進めてきました。今回の4人の留学生からの話や交流を通して，自分たちだけでは知りえなかった新たな発見がたくさんあり子どもたちはとても興味深く交流会に参加していました。ファシリテーターの方が，細かいところまで打ち合わせしてくださり，安心して任せることができました。ありがとうございました。

成果と課題

・ワールドキャラバンを通して外国の文化や歴

史，衣食住のほか児童に身近な遊びや学校生活などさまざまなことについて知ることができました。調べ学習だけでは知ることができない生活に密着した児童に関心のあることが分かったことは，児童にとって外国をより身近に感じることができたようです。また交流を通して，日本と外国が文化などに違いはあっても，同じ人間同士通じ合えることも実感できたことはとてもよかったですと思います。今後は，さらに世界に目を向けて外国の情報を収集したり，ALTとの言語学習などにも進んで体験活動を取り入れるなどの工夫をしたりして，外国への理解を深める学習につなげていきたいと思っています。

